

第 13 章 環境保全啓発事業・環境教育

1 環境保全啓発事業

(1) 環境月間

環境省では、環境基本法に定められた 6 月 5 日の「環境の日」を中心とする 1 ヶ月間を環境月間と定め、広く国民一般に環境活動への積極的な参加を普及啓発しています。本市においても、環境月間の趣旨を市民、事業所等に啓発するため、各種の行事を実施しています。

平成 26 年度の行事は、表 13-1(1)のとおりです。

表 13-1(1) 環境月間行事内容

(平成 26 年度)

行 事 名	内 容	場 所 等
「環境の日」キャンペーン	地球温暖化、ごみ減量化、不法投棄防止などの環境保全意識高揚を図るため街頭啓発を実施	市内店舗2箇所
いわきのまちをきれいにする市民総ぐるみ運動	6月と10月に海岸、公園及び家庭周辺等の一斉清掃を実施。	市内全域 参加人数： 春：114,287 人 秋：90,173 人

(2) 再生可能エネルギー啓発事業

再生可能エネルギーについて理解を深めてもらうため、小中学生を対象とした副読本「みんなの再生可能エネルギータウン」の作成や出前講座「再生可能エネルギーって何？」の開催など、次世代を担う子供達をはじめ、市民への啓発事業を実施しています。

2 環境教育・普及啓発の推進

(1) 環境アドバイザー派遣事業

本市では、環境に配慮したまちづくりを推進するため、自然とのふれあいや野外観察、健康な暮らし、緑化、省エネルギーや省資源の方法など、市民の皆様が自発的な環境保全活動に取り組むに当たって、参考となる知識を提供する「環境アドバイザー」を市内各地へ派遣しています。

平成23年度は東日本大震災の影響により事業を中止しておりましたが、平成24年度から事業を再開しました。

表 13-2(1)-1 環境アドバイザー派遣実績

年度	受講者数(人)	派遣回数(回)	派遣人数(人)
平成21年度	2,086	55	88
平成22年度	1,910	50	75
平成24年度	1,016	24	30
平成25年度	1,679	53	56
平成26年度	1,987	53	79

～環境アドバイザーの派遣申請等について～

市民のみなさまが市内において、参加者10人以上の環境に関する講演会や講習会、自然観察会を主催する場合、講師として「環境アドバイザー」を派遣しています。派遣を希望される方は開催予定日の30日前までに環境企画課までお申込みください。

また、「環境アドバイザー」として登録していただける方についても随時募集しておりますので、登録を希望される方は環境企画課までお問い合わせください。

【お申込みにあたって】

- ▼ 講師の謝礼・交通費は市が負担しますが、会場・資料など開催に必要な準備は主催者にてご用意ください。
- ▼ 講演内容等の具体的な事項は、主催者とアドバイザーにて協議していただきます。
- ▼ 政治、宗教、営利を目的とした講演会等への派遣はいたしません。

表 13-2(1)-2 環境アドバイザー派遣内容一覧

(平成27年10月1日現在)

分類	講演内容	講師氏名			
自然環境	自然観察会・自然体験活動指導等	自然環境(自然体験活動)生命の命のつながり	野口 紘 野口 ミツ子		
		幼児期の自然体験活動の支援・指導	草野 秀雄		
		小中学校での総合学習の支援・指導			
		環境学習の支援・指導	根本 輝男 古川 眞智子		
		自然環境学習			
		ネイチャーゲーム指導	鈴木 晴美 桂 伸夫		
		自然観察会、木工クラフト、ペーパークラフト			
		天体観察及び天体観測の解説及び指導			
	天体観測を通じた自然環境保全への啓発				
	企画	自然観察会のプログラム企画と実施	野口 紘 野口 ミツ子 草野 秀雄		
			大谷 善浩 平川 英人		
	水質調査	水生生物による水質調査指導	野口 紘		
		川・海の水質調査指導			
	環境教育	自然体験活動から始まる環境教育(森林・河川・海の環境、命のつながり)	平川 英人		
		農業廃水路の環境教育			
		風力推進車	佐藤 烈 鈴木 信一 高木 力		
		「自然環境と人間とのかかわり」を基礎とした環境教育及びその支援			
	自然環境保全	環境影響評価(環境アセスメント)について	小林 健四郎		
		日常生活での身近な問題(海・地球の浄化について)			
	生活環境	生活排水	水環境と生活排水	柄内 賢一 橋本 孝一 佐藤 烈	
水環境と生活との係わり					
雨水の利活用					
水循環					
ごみ・廃棄物		日常での身近な問題(海・地球の浄化について)	小林 健四郎 青木 敏春		
		廃棄物・3R推進			
		廃棄物の有効利用について	高木 力 小林 健四郎		
		ゴミ問題			
		生ごみ堆肥化方法のいろいろ(密閉容器、密閉式ビニール袋、段ボール箱、発泡スチロール箱等の方法を組み合わせ、庭・畑・プランターで利用)	先崎 久美子 武田 憲子		
		家庭でできる生ごみの減量と有効利用(生ごみ堆肥化方法、EMぼかし法、段ボール箱・トロ箱利用等)			
		都市環境	公害・化学物質	大気、水質、騒音、振動、悪臭問題について	高木 力 青木 敏春 佐藤 烈
				農業の使用と生体について	
有害物質と生態系について					
省エネルギー・再生可能エネルギー	大気、水質、土壌、地下水汚染問題		青木 敏春 佐藤 烈 青木 敏春		
	物質(化学物質等)循環等				
	省エネルギー対策				
広域環境	地球環境	自然エネルギー教室(手作りソーラーパネル講習会、太陽光パネルを利用した体験学習、マイクロ水力による水力発電講習、ソーラークッカーによる太陽熱講習、市民施工による太陽光発電所施工講習、災害に備える独立電源)	島村 守彦		
		地球温暖化	青木 敏春		
		地球温暖化と地球にやさしくらしめた(家庭での省エネルギー、環境家計簿の普及、ヒートアイランドとその対策)	柄内 賢一		
		地球環境問題と生活との係わり	橋本 孝一		
		地球温暖化・気温上昇の要因と今後の予測	石塚 諒		
		地球温暖化	小林 健四郎		
地球温暖化について	根本 輝男				

(2) 出前講座等

環境問題や公害防止に関して必要な知識の普及・啓発を図るため、市役所出前講座などに市職員を講師として派遣しています。平成26年度の実施状況は、表13-2(2)のとおりです。

表13-2(2) 出前講座等への講師派遣実績 (平成26年度)

事業名	目的	開催場所	参加者合計人数
再生可能エネルギーって何？	「再生可能エネルギーとは何か」「なぜ再生可能エネルギーが必要なのか」について学習します。	いわき市立小名浜第一小学校	29人
くらしと環境問題 “いわき市の環境”	環境問題、本市の環境・公害の現状等を知ることにより、環境保全に対する意識の高揚を図る。	いわき市立小名浜第一中学校 ほか1カ所	57人

(3) せせらぎスクール

福島県では、例年、小中学校、高等学校、各種市民団体等を対象とした「水生生物による水質調査」を行う団体を『せせらぎスクール』として募集していましたが、東日本大震災及び原子力発電所事故により中断しておりました。平成26年度より募集を再開しました。

なお、本事業概要は次のとおりです。

① 対象 小・中学生、高校生、各種団体等

② 実施時期 6月～9月末

③ 活動内容

川底から採取した水生生物について、定められている30種類の指標生物に照らし、その種類と数により水質を判定します。

④ 教材の提供

参加団体には、福島県から調査に必要な教材を提供します。

⑤ 活動状況

平成26年度の参加団体は、表13-2(3)のとおりです。

表13-2(3) 市内のせせらぎスクール参加団体

(平成26年度)

No	団体名	参加人数
1	福島県立いわき海星高等学校 海洋科	46
2	かわせみ流域会	30
3	小川郷農地水環境保全会	25

(4) こどもエコクラブ

こどもエコクラブは、将来を担う子どもたちが主体的に行う環境保全活動や環境学習を支援するクラブです。事業概要は、次のとおりです。また、本市における平成 26 年度の登録団体は、表 13-2(4)のとおりです。

- ① 対象 幼児、小・中学生、高校生
- ② 実施時期 通年
- ③ クラブの設立方法
 - 1 人から登録可能
 - こどもエコクラブ全国事務局への登録手続き
 - サポーター（活動を補助する大人（連絡係））が 1 人以上

④ 教材の提供

活動のヒントとなる情報などが記載されたニュースレターや、指導者向けプログラム等の支援ツールが提供されます。

表 13-2(4) こどもエコクラブ登録団体 (平成 26 年度)

ク ラ ブ 名	ク ラ ブ 人 数	グ ル ー プ の 種 類
久之浜児童クラブ	メンバー 50 人 サポーター 4 人	児童館・公民館
小名浜三小児童クラブ	メンバー 45 人 サポーター 8 人	その他

(5) 星空観察会(スターウォッチング)

星空観察（スターウォッチング）は、いわき天文同好会と共に開催している共催事業です。参加者に光害や大気汚染などのない清澄な大気への関心を高めてもらうことを目的に、肉眼、双眼鏡、カメラを使った身近な方法による星空観察を毎年 2 回（夏期及び冬期）実施しております。平成 26 年度の実施状況は、表 13-2(5)のとおりです。

表 13-2(5) 星空観察会実施状況

場 所	参加者数
いわき市高久公民館	107 人(夏:25 人 冬: 82 人)

(6) いわき子ども環境賞コンクール

本市では子供達の環境保全に対する理解を深め、また、意識高揚を図ることを目的とし、市内の小中学生を対象とした環境保全をテーマとする標語を夏休みの課題として募集し、その作品を表彰・発表するもので、「いわき地域環境科学会」との共催により行っております。

平成 26 年度の実施状況及び受賞作品は、表 13-2 (6) - 1、13-2 (6) - 2 のとおりです。

表 13-2(6)-1 第 11 回「いわき子ども環境賞」コンクールの実施状況

応募作品数	応募者数	応募学校数	受賞者数
829 作品	618 名	合計27校(小学校17校、中学校10校)	最優秀賞1、優秀賞5、佳作7、計 13 件

表 13-2(6)-2 第11回「いわき子ども環境賞」コンクール受賞作品一覧

受賞作品		
最優秀賞	ポイ捨ては あなたのモラル 捨てること	三阪中 <small>いずみ りょうへい</small> 和泉 亮平
優秀賞	でんきけす ぱぱわすれたら ぼくがやる	郷ヶ丘小 <small>すずき らいむ</small> 鈴木 徠夢
	でんきけす きみの心は ひかっている	平六小 <small>やぶき あいな</small> 矢吹 愛奈
	エコとムダ どんどんさせよう 反比例	郷ヶ丘小 <small>はやみ ゆいね</small> 速水 唯峯
	捨てるまで 命吹き込み 再利用	高坂小 <small>たかき やすひろ</small> 高木 康広
	残します おいしい空気と うまい水	玉川中 <small>さとう はるき</small> 佐藤 悠希
佳作	それはプラ 分ける心が 世界を変える	郷ヶ丘小 <small>いそがみ こうのすけ</small> 磯上 公之介
	ふみだそう エコなくらしの 第一歩	菊田小 <small>くした みきこ</small> 榎田 美希子
	そのゴミも 使える物に 大変身	菊田小 <small>とがし ななみ</small> 富樫 七海
	リサイクル みんなでしよう エコひいき	好間一小 <small>しげ ふうか</small> 四家 楓花
	エコツてね 心ひとつで かわるもの	長倉小 <small>わたなべ みう</small> 渡邊 美海
	自分から 一歩踏み出せ エコライフ	小名浜一中 <small>さとう にいな</small> 佐藤 似菜
	ばあちゃんの 知恵を活かして エコ生活	植田中 <small>さかい かの</small> 酒井 花野

(7) 緑のカーテンコンクール

市では、地球温暖化対策や省エネルギー対策を推進するため、ツル性の植物を建物の壁や窓の外側に覆わせ、日よけ効果や夏季の節電効果がある「緑のカーテン」の普及を図ることを目的に、緑のカーテンコンクールを開催しています。

家庭、店舗・事業所、学校の3つの部門で出来栄を競い、優れた取組を表彰し、緑のカーテンの取組として広く紹介しています。

本事業は平成25年度から開催し、平成25年度は57件、平成26年度は36件の応募がありました。



平成25年度緑のカーテンコンクール大賞
受賞者「社団医療法人呉羽会 呉羽総合病院」



平成26年度緑のカーテンコンクール大賞
受賞者「社会福祉法人 五彩会」